

Mizuho Daily Market Report

2023/7/3

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	144.85	144.31	▲0.45	+0.61
EUR	1.0857	1.0909	+0.0044	+0.0015
AUD	0.6622	0.6664	+0.0048	▲0.0016
SGD	1.3566	1.3524	▲0.0041	+0.0005
CNY	7.2609	7.2537	+0.0062	+0.0743
MYR	4.6730	4.6665	▲0.0065	▲0.0118
THB	35.53	35.46	▲0.07	+0.23
IDR	15066	14993	+0	▲1
PHP	55.21	55.21	▲0.12	▲0.56
INR	82.03	82.04	▲0.02	+0.01

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.837%	▲0.2 bp	+10.2 bp
日本(10年)	0.401%	+1.0 bp	+3.2 bp
ユーロ圏(10年)	2.392%	▲2.4 bp	+3.9 bp
オーストラリア(5年)	3.955%	+11.8 bp	+1.9 bp
シンガポール(5年)	3.118%	+4.4 bp	+3.6 bp
中国(5年)	2.408%	▲3.2 bp	▲5.8 bp
マレーシア(5年)	3.609%	+2.4 bp	+0.1 bp
タイ(5年)	2.314%	+0.0 bp	▲2.6 bp
インドネシア(5年)	5.911%	+0.0 bp	▲2.6 bp
フィリピン(5年)	6.054%	+5.0 bp	+11.9 bp
インド(5年)	7.081%	+6.3 bp	+5.3 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	34,407.60	+0.8%	+2.0%
N225(日本)	33,189.04	▲0.1%	+1.2%
STOXX50(ユーロ圏)	4,399.09	+1.0%	+3.0%
ASX(オーストラリア)	4,096.26	+0.8%	+1.1%
FTSEI(シンガポール)	3,205.91	▲0.0%	+0.4%
SSEC(中国)	3,202.06	+0.6%	+0.1%
KLSE(マレーシア)	1,376.68	▲0.8%	▲1.0%
SETI(タイ)	1,503.10	+1.6%	▲0.2%
JKSE(インドネシア)	6,661.879	+0.0%	+0.3%
PSE(フィリピン)	6,468.07	▲0.7%	+1.2%
SENSEX(インド)	64,718.56	+1.3%	+2.8%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	261.99	+1.1%	▲0.4%
金	1,919.35	+0.6%	▲0.1%
原油(WTI)	70.64	+1.1%	+2.1%
銅	8,322.05	+1.8%	▲1.0%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	143.10	—	145.00
EUR/USD	1.0800	—	1.0940
AUD/USD	0.6570	—	0.6700
USD/SGD	1.3500	—	1.3655
USD/CNY	7.2300	—	7.3050
USD/MYR	4.6300	—	4.7500
USD/THB	35.00	—	35.75
USD/IDR	14950	—	15120
USD/PHP	55.00	—	55.70
USD/INR	81.90	—	82.25

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は144円台後半でオープンすると、五・十日の実需の買いワロもあってかじりじりと上昇。仲値通過後も底堅い推移が続き145.00を突破し高値を更新。しかし、節目であるその水準では押し返されると、終盤にかけては四半期末の売りワロも強く、144円台後半まで下落。その後は上値の重い推移が続き、144円台後半で海外時間に渡った。
アジア通貨は全般的に小動き。タイでは5月製造業生産指数が発表され輸出低迷を背景に前年比3.14%低下となったが指標に対する反応は限定だった。

海外市場のドル円は144円台後半でNYオープン。NY時間朝方に発表された米PCEコアデフレーター(前月比)は予想通りの数字となったものの、同時に発表された米5月個人支出(前月比)が予想を下回り、米景気減速が懸念され、ドル売りが優勢となり、144円台前半まで下落。続いて発表された米6月ミシガン大学消費者マインド(確報値)が上方修正されるも、5-10年期待インフレ率(確報値)が予想通りの結果となった事から、ドル円への影響は限定的で、144円台前半まで下げ幅を広げる。その後144円台前半まで反発する場面も見られたが、米金利低下を受け、再び下落。その後は週末を控える中、144円台前半での小動きが続き、同水準でクロスした。

【金利】

米債利回りは小幅にツイストフラット化して終了。PCE統計でのインフレ鈍化が示唆されたこと等は債券買い圧力に、月末の買いワロも長期ゾーンの金利低下要因となった。

【予想】

本日のドル円は底堅い展開を予想。先週金曜日は一時的に145円台まで上昇した後すぐに144円台まで戻されているものの、足元では円を積極的に買う材料に乏しい状況であると考えられ下落局面は長続きはしないだろう。引き続き円安けん制発言には注意が必要ではあるものの、基本的には円売り優勢の展開を予想する。

【本日の予定】

(日本) 2Q 日銀 短観
(日本) 6月 製造業PMI(確)
(アジア) 2Q シンガポール URA民間住宅価格(速)
(アジア) 5月 豪 住宅ローン額 / 住宅建設許可件数 / 民間部門住宅
(アジア) 5月 豪 投資家ローン額 / 持家住宅ローン
(アジア) 6月 インドPMI製造業
(アジア) 6月 インドネシア CPI
(アジア) 6月 シンガポール 購買部景気指数 / 電子産業指数
(アジア) 6月 中国 Caixin製造業PMI
(アジア) 6月 豪 PMI製造業(確)
(欧州) 6月 ユーロ圏 製造業PMI(確)
(欧州) 6月 独 製造業PMI(確)
(米国) 5月 建設支出
(米国) 6月 ISM製造業景況指数
(米国) 6月 ワース自動車販売台数合計
(米国) 6月 製造業PMI(確)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。